

IDT — 2009R/B WL

取扱説明書

このたびは、当社の温度計をご購入頂き、誠にありがとうございます。本製品の製造に際しては、万全を期していますが、万が一お気づきの点があれば、当社代理店にお問い合わせください。
本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

取扱説明書改訂履歴

Ver. Rev.	ページ	内容	日付
1.0		初版発行	2008.6

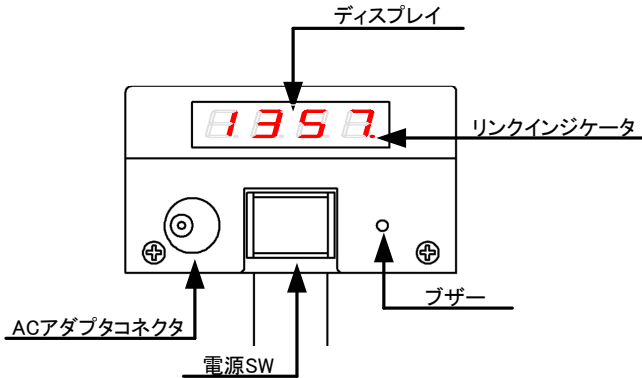
<<<目次>>>

□基本仕様	1
□外部名称説明	2
□基板内部名称説明	2
□充電方法	3
□バッテリー交換方法	3
□パラメーター設定説明	3
□パラメーター異常	4
□測定操作	6
□バーンアウト動作	6
□レンジオーバー動作	6

□基本仕様

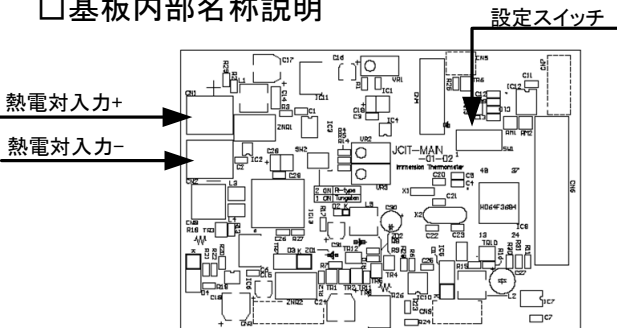
測定範囲	R-TYPE -50~1760℃ (IDT-2008R) B-TYPE 450~1820℃ (IDT-2008B)
測定精度	0.5%級
精度保証温度範囲	R-TYPE 1000~1760℃ (IDT-2008R) B-TYPE 1000~1820℃ (IDT-2008B)
測定時間	125mS 8回/秒
温度補償回路	-20~125℃±0.5℃
断線バーンアウト回路	一方方向バーンアウト回路内蔵
測定レンジオーバー回路	最高温度レンジオーバー点滅表示
温度測定モード	リアル表示モード 現在の温度を表示するモード ピークホールドモード 最高温度を測定表示するモード
ブザー	ボタン操作、ピークホールド測定完了時に鳴動 (ON/OFF設定可能)
バッテリー	単三型ニッケル水素電池4本(交換可能)
表示回路	文字高13mm赤色7SegLED表示
LOWバッテリー検知	バッテリー残量LOW検知回路内蔵
バッテリー劣化検出回路	劣化検知回路内蔵
パワーマネジメント回路	自己パワーオフ回路内蔵(パワーオフ時間設定可能)
外部I/F回路	ZigBee IEEE802.15.4 2.4GHz
充電用ACアダプター	12V 1A センター+

□外部名称説明



- ディスプレイ** 現在温度、ピークホールド温度、エラーを表示します。
- ACアダプタコネクタ** 充電用ACアダプタを接続します。
⚠ ACアダプタは付属の専用ACアダプタを御使用下さい。
 他のACアダプタを使用すると機器破損の恐れがあります。
- ブザー** 電源ON/OFF時、ピークホールド測定完了、ピークホールドリセット時にブザーが鳴動します。
- 電源スイッチ** 電源のON/OFF、ピークホールドのリセットを行ないます。
- リンクインジケータ** 表示器と接続が確立した時に点灯します。

□基板内部名称説明

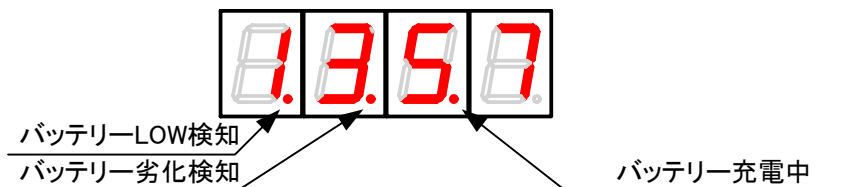


- 熱電対入力** センサー(補償導線)を接続します。
- 設定スイッチ** 本機の動作設定を行ないます。

□充電方法

バッテリーLOWを検知すると、表示パネルにバッテリー LOWのLEDが点灯します。充電用ACアダプター(12V1A)をACアダプタコネクタに接続すると、バッテリー充電中のLEDが点灯し、2時間の急速充電を開始します。2時間を経過しますと、充電中LEDが消灯し、トリクル充電に切り替わります。

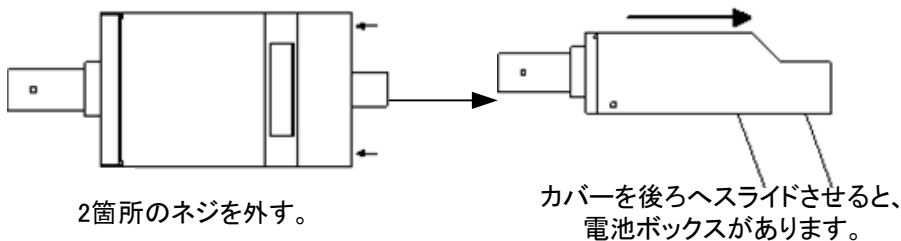
バッテリー劣化LEDが点灯したら、バッテリーを交換してください。



□バッテリー交換方法

本温度計で使用できるバッテリーは1.2V単三型ニッケル水素電池4本です。バッテリー劣化LEDが点灯した場合、下図の手順で交換して下さい。

⚠ 指定以外のバッテリーを使用すると、機器の破損、バッテリーの破裂等の恐れがあります。指定以外のバッテリーは絶対にご使用にならないでください。



⚠ 電池ケースはカバーによって固定されています。上下正しく水平にしてカバーを外して下さい。逆さや立ててカバーを開けると電池ボックスが飛び出す場合があります。

□パラメーター設定説明

DIPSWによる動作モード設定

SW	ON	OFF	SW	ON	OFF
1	ピークホールドモード	リアル表示モード	5	設定モード	-
2	Btypeセンサー	Rtypeセンサー	6	設定リセット	-
3	ブザーON	ブザーOFF	7	-	-
4	-	-	8	-	-

設定モード時、DIPSWの1～4の状態によって以下のパラメータの設定を行いません。
 プッシュスイッチを押すことで値が増えます。
 設定できる最大値を超えてスイッチを押すと最小値に戻ります。
 設定終了時はスイッチを長押しして電源をOFFしてください。
 保存はこの時に行なわれます。

SW4321	表示	動作説明
0-0000		機器ID番号の設定電源SW押にてパラメーターUP
1-0001		リアル表示モードの自動電源オフ時間設定0入力でOFF無し
2-0010		ピークホールド表示モードの自動電源オフ時間設定0入力でOFF無し
3-0011		ピークホールド表示モードでの表示OFF温度設定
4-0100		ピークホールド表示モードでの測定開始温度設定
5-0101		ピークホールド表示モードでの強制測定終了カウント設定
6-0110		ピークホールド表示モードでのΔ温度設定
7-0111		ピークホールド表示モードでのピークダウンカウント設定
8-1000		ピークホールド表示モードでの断線検知の為のバーンアウトカウント設定
9-1001		温度送信先表示器のネットワークIDの設定
A-1010		送信電波強度の設定
B-1011		表示器の表示明度を設定。24段階
C-1100		表示器の自動切替時間を設定 3～16秒
D-1101		表示器保持データの有効期限設定 1～25(x200秒)
その他		何も行いません。

*注) SWはONで1として扱います。

*注) パラメーターの記憶動作は電源SW長押しにて、電源OFF時に記憶します。

*注) 項目B、C、Dは表示器へコマンド送信し、設定値は表示器に保存されます。

□パラメーター異常

電源投入時、パラメーターが破損している場合、表示パネルに[PrEr]と表示します。
 電源を切ってもう一度立ち上げる事で、前回設定した値に復帰します。
 再度電源を切ってもう一度立ち上げた場合にも同じく[PrEr]を表示する場合は、
 DIPSWにてデフォルト設定機能を使用して、パラメーターを工場出荷モードに戻すことが可能です。

□測定操作

- 電源ON 電源のONは電源SWを1秒押すことで、電源が投入されます。電源投入後、センサーの温度(室温)が表示されたら測定可能です。
- 電源OFF 電源のOFFは電源SWを3秒間押し続けることで電源OFFされます。また、オフタイマー機能により、測定やスイッチの操作をせずに2分(デフォルト)経過した場合にも電源OFFされます。
- RESET ピークホールド表示モードに於いて、ピークをホールドしている状態で、電源SWを押すことでピークホールド表示はリセットされ測定準備完了になります。

ピークホールド測定

センサーを溶湯に漬けると測定開始します。
測定完了するとブザーが鳴動し、表示器に温度データを送信します。
温度データは直ちに表示器に表示されます。

□バーンアウト動作

本温度計はセンサーが接続されていない時は、バーンアウト動作に入ります。
バーンアウト動作は表示パネルに[— — —]を表示します。
バーンアウト方向は—温度方向で、 -50°C 以下でバーンアウト動作を実行します。

□レンジオーバー動作

本温度計は測定範囲異常の温度起電力が入力された場合にレンジオーバー動作を実行します。レンジオーバーは表示パネルには温度を表示し、点滅表示を行います。
R-TYPE時は 1760°C 、B-TYPE時は 1820°C が最大測定温度です。



ジェイシーネット株式会社

大阪市西区靱本町1丁目5-6本町辰巳ビル6F
〒550-0004 TEL 06-6444-0096
URL:www.com-flex.com